

6 深沢市街地域 地域別方針

目標における網掛け部分と具体的な取り組みにおける太字部分は平成16年度に追加・修正した部分です。
また★印は重点的に取り組む内容です。



まちづくりの基本的考え方

- 市街地を取り囲む天神山・等覚寺山等の斜面緑地、市街地に残る農地等の緑や柏尾川等の河川など自然環境を大切にする。
- 住宅と工場、店舗など様々な都市機能が調和する住みやすい市街地をつくる。
- 深沢地域国鉄跡地周辺の開発を地域のまちづくりに活かす。

目標

目標①

市街地を取り囲む
斜面緑地と柏尾川
を生活空間とする
まちづくり

①公園整備を進めるとともに、
現存する緑地、農地を保全しつ
つ、市民が農作業や自然に親し
める空間を整備する

②柏尾川などの河川・水路に水と
緑の空間をつくる

具体的な取り組み

- 古都保存法以外の法による保全
- 身近な緑の保全
- 都市公園等の緑の保全・創出
- スポーツ・レクリエーション施設の充実
- 生産緑地地区の保全
- 農地の保全活用

- 柏尾川などの河川の自然回復と環境保全・親水化
- 夫婦池周辺は自然を保全しつつ、水に親しめる空間として整備

目標②

様々な土地利用の
相互調整による良
好な市街地環境の
形成

①緑豊かな住宅地を保全する

②基盤未整備の住宅地を整備する

③住工混在の土地利用の相互調整
を図る

④藤沢鎌倉線等主要な道路沿道の
景観整備及び適切な土地利用を
誘導する

⑤住環境・高齢社会に配慮した安
全で快適な道路・交通施設を整
備する

⑥地域の防災性の向上を図る

- 住宅地景観の整備
- 一般住宅地における良好な住環境の保全
- 丘陵の低層住宅地の住環境の保全（地区計画等）
- 中層住宅地の住環境の保全
- 緑化協定等のルールづくり
- ★ 特別緑地保全地区の指定（天神山緑地）

- 道路や公園の整備
- 下水道の早期整備

- 住宅と産業の環境整備
- 高度な産業機能の育成

- 生活型商業地の形成
- 沿道の景観整備

- 藤沢鎌倉線、長谷常盤線等の整備
- 生活道路の環境改善（歩行者や自転車に配慮）
- ★ モノレール駅のバリアフリー化

- 地域の防災拠点の整備
- 基盤整備による防災性の向上



★ 目標③

市民のための深沢地
域国鉄跡地周辺のま
ちづくり

①全市的視点から自然環境の保全
再生と市街化のバランスの取れ
たまちづくりを行う

②民間活力の導入を視野に入れた
市民のための拠点として整備す
る

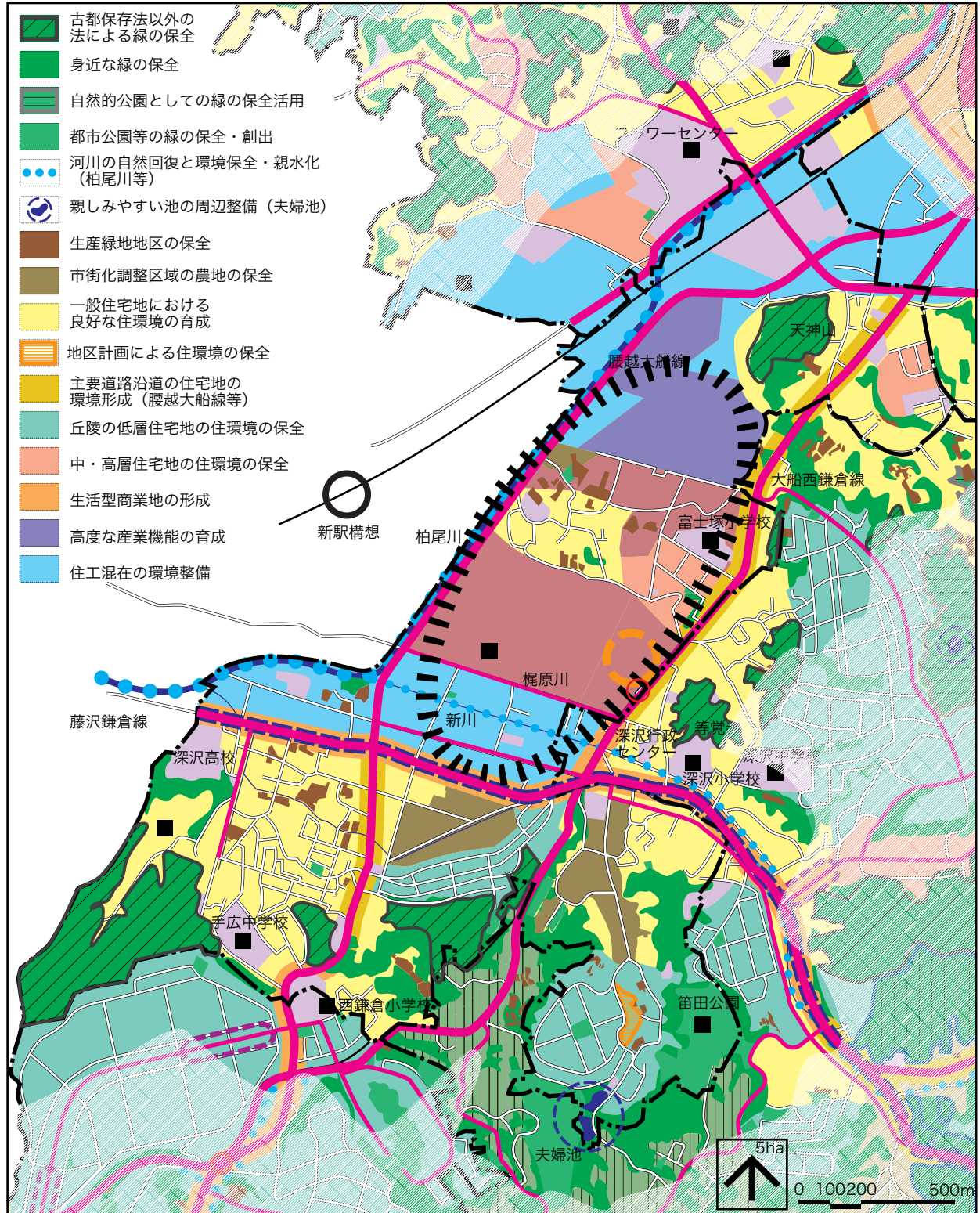
③歩行者・自転車等を尊重した
交通施設の整備を行う

- 土地利用のガイドラインの作成
- 新たな緑の創出
- 建物の高さ抑制
- 省エネルギー等環境共生のための施設整備

- 防災の一時避難所や身近な運動施設など、多目的に使える公園、緑の原っぱの整備
- 福祉の拠点、スポーツ・レクリエーション施設、市民交流センター、情報産業、保健・医療福祉総合センター等の複合施設の導入
- 若年世代や多様な人々が生活できるバリアフリー等の多様な住宅供給

- パークアンドライド 駐車場の整備
- 快適に歩ける空間整備
- 適正な交通計画

図 地域別方針……深沢市街地域



- | | | |
|--------------------|--------------------------|---------------------------|
| 新たな都市機能の導入 | 主要な道路沿道の景観整備(藤沢鎌倉線等) | パークアンドライド駐車場の整備 |
| 公共公益施設等(開放・緑化等) | 歩行者や自転車に配慮した生活道路の環境改善 | 地域の交通拠点における交通施設の充実(湘南深沢駅) |
| 藤沢鎌倉線、長谷常盤線等の整備・改善 | 深沢地域国鉄跡地周辺の市民生活の拠点としての整備 | 地域の防災やコミュニティ拠点の整備 |

1. 地域の特徴

- 柏尾川沿い及び県道藤沢鎌倉線沿いに工業施設が集積しています。また沿道には商業施設も点在しています。
- その周辺には計画的な住宅地があり、柏尾川と斜面緑地が市街地を囲んでいます。また、南部には市街化調整区域があり、農地が点在しています。

2. 主な動向と取り組み

地域別の方針（本編 150 ページ）に掲げる 3 つの目標についての主な動向と取り組みは次のとおりです。

目標 ①

市街地を取り囲む斜面緑地と柏尾川を生活空間とするまちづくり

- 夫婦池公園の用地 (3.3ha) 取得を進めており、公園整備を図ります。
- 等覚寺・手広笛田・天神山地区の緑地保全のため、土地の取得を進めています。

目標 ②

様々な土地利用の相互調整による良好な市街地環境の形成

- 鎌倉市まちづくり条例に基づく自主まちづくり計画が手広谷際自治会から提案され (7.6ha、H12.9)、建築協定が手広字大谷西部住宅地で締結されました (H12.9)。手広片岡自治会において、住民協定が更新されました (H14.4)。

目標 ③

市民のための深沢地域国鉄跡地周辺のまちづくり

- 市民参画により「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」が策定されました (H16.9)。

3. 重点的に取り組む内容

中心部の深沢地域国鉄跡地と市街地を取り囲む斜面緑地のある地域の特性を活かすための新しいまちづくりの推進と緑地の保全が必要です。

重点

1) 深沢地域国鉄跡地周辺のまちづくり

- 「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」に基づき、適切な土地利用を図っていきます。
- 導入する機能については、社会情勢の変化を踏まえ、情報産業等の都市型産業・研究・研修機能や、超高齢社会を見据えた保健・医療・福祉関連機能など、深沢地域のみならず全市的視点で検討します。
- 整備に際しては、厳しい財政状況を考慮し、民間活力を積極的に導入します。

重点

2) モノレール駅のバリアフリー化

- 地域の貴重な交通手段である湘南モノレールですが、高齢社会に対応できるように、交通バリアフリー法に基づく移動円滑化基本構想の重点整備地区（湘南町屋駅・湘南深沢駅周辺）においては、エレベーター等昇降施設の設置等によりバリアフリー化を進めます。

重点

3) 天神山緑地の特別緑地保全地区指定

- 「緑の基本計画」に基づく施策方針に従い、天神山緑地の用地取得を引き続き行うとともに、特別緑地保全地区の指定を行います。

ソフト面の取り組み

- 市内産の野菜を買う仕組みによる農業生産の保護
- 地域の防災のルールや仕組みづくり
- 福祉の助けあいの仕組みづくり
- リサイクルセンターの有効活用

検討課題

- 東海道本線新駅整備構想への対応
- 市街化調整区域のあり方